

1 調査研究の主旨

複雑・高度化する様々な地域課題に的確に対応し、府民の視点に立って良質な行政サービスを提供し続けていくためには、多様で優秀な人材の確保が極めて重要である。

京都府では、平成15年度に、府職員として求める人材像を明確化するとともに、人物重視の採用を行うため試験の大幅な見直しを行ったところであり、その後も、人物重視の採用を一層推進するため、制度の見直しを継続して行ってきた。

本調査研究では、こうした経過を踏まえ、上級試験における能力実証のあり方に関して研究、検討を行った。

また、景気回復に伴う民間企業の採用増加の動きがあるなかで、より多くの受験者を確保する方策や、大学生等の就職・採用活動時期の後ろ倒しに伴う採用試験の対応についても検討を行った。

2 調査研究内容及び検討結果

(1) 上級試験における能力実証のあり方

(7) 平成25年度上級試験の検証

平成25年度試験では、大学等でしっかり学んでいれば特別の試験対策をしなくても受験しやすい試験にするため行政I専門試験に選択科目制を導入するとともに、多様な人材を確保するため10月採用試験区分（行政、土木）を設置する等の見直しを行ったところであり、その効果の検証を行った。

- ・行政I専門試験選択科目制の導入については、近畿府県の上級行政や府上級試験全体の受験者が減る中で、行政Iの受験者は昨年比1割以上増えており、受験者数、層の拡大に寄与したと考えられる。
- ・10月採用区分の新設については、発表が4月になり、周知期間が短かったこともあり、求める人材が多数受験したとはいえないという状況が見受けられたところであり、こうした課題への対応が必要と考えられる。

(4) 能力評価方法

多様で優秀な人材の確保を図るため、民間企業等にインタビューを実施し、採用したい人物像や採用活動の特性、面接の視点などの調査、研究を行った。

- ・民間企業の採用活動を踏まえ、公務に必要な多様な能力を評価するためにどのような工夫ができるか研究が必要と考えられる。

(2) 受験者確保対策

京都府では、受験希望者を対象に職場見学会や採用試験ガイダンスの開催等の取組を行っているが、受験者を更に確保するためにはどのような取組が効果的か調査、研究を行った。

- ・都道府県の仕事についてイメージしにくいとの意見がある中で、就職を考える人に、府の魅力をわかりやすく伝えることが必要と考えられる。
(例) 職員の自主的な活動に触れる機会の提供
- ・様々な工夫がされた民間企業の求人情報が発信される中で、受験者が求める情報が容易に得られるよう広報手段の改善、充実が必要と考えられる。
(例) 採用情報ホームページの構成やコンテンツの整理、充実

(3) 大学生等の就職・採用活動時期の後ろ倒しに伴う対応

平成27年度卒業・修了予定者から民間企業等の採用選考活動が8月1日以降に後ろ倒しされることとなるため、その影響について調査、研究を行った。

- ・京都府においても、民間、人事院、同一日に第1次試験を行っている他県等の動向を踏まえつつ、試験日程を早期に決定することが必要と考えられる。
- ・後ろ倒しに伴う就職希望者の動向も見極めつつ、受験者確保を図ることが必要と考えられる。

1 平成15年度以降の試験制度の主な見直し内容

① リセット方式による最終合格者の決定 ② 1次面接の導入 ③ 論文試験を課題解決型へ変更 ④ 行政Ⅱの実施	平成15年度
⑤ 教養試験の知識分野の出題数削減	平成20年度
⑥ 個別面接の複数回実施(行政Ⅰ・Ⅱ) ⑦ 教養試験の知能分野の出題増、行政Ⅰの専門試験出題数増	平成24年度
⑧ 10月採用区分の新設(行政Ⅰ・土木) ⑨ 行政Ⅰの専門試験選択科目制の導入(法律・経済・行政) ⑩ 1次面接に自己アピールを導入 ⑪ 教養・専門試験に合格基準点を設定等	平成25年度

2 平成25年度試験実施結果

(1) 近畿府県の上級(行政)試験実施結果

(受験者数:名)

	京都府 行政Ⅰ	滋賀県 行政	大阪府 行政	兵庫県 一般事務職	奈良県 行政A	和歌山県 一般行政職 (通常枠)
H25年度	496	493	1,121	488	481	384
H24年度	434	564	1,062	574	593	471
増減	62	△71	△59	△86	△112	△87

※奈良県は新たな試験区分(行政B)を除く。

(2) 国家公務員採用試験実施結果

(受験者数:名)

	総合職 行政 院卒者試験	総合職 法文系 大卒程度試験	一般職 行政 大卒程度試験
H25年度	782	11,161	20,932
H24年度	871	11,980	23,723
増減	△89	△819	△2,791

(3) 京都府上級試験10月採用試験区分の実施結果及び求める人材

(ア) 実施結果

区分	申込者	受験者	1次合格者	最終合格者	競争倍率
行政Ⅰ(4月)	773名	453名	147名	101名	4.5
行政Ⅰ(10月)	84名	43名	9名	3名	14.3
土木(4月)	31名	13名	10名	8名	1.6
土木(10月)	9名	4名	1名	1名	4.0

(イ) 10月採用試験区分の求める人材

求める人材

・行政Ⅰ(10月)

ボランティアや地域貢献活動など大学の教育課程等以外の活動や海外留学の経験から広い視野やコミュニケーション能力を有し、それを業務に活かすことができる方で10月1日の採用に応じられる方

・土木(10月)

府政の緊急課題への対応等に伴う行政需要に応えるため、10月1日の採用に応じられる方

3 人材確保対策の取組状況について（25年度）

(1) ガイダンス・府庁見学会の実施

	実施日・参加者数	内 容
①春ガイダンス（東京） （都道府県会館）	25年4月24日 （㊦26名 ㊤41名）	▲試験の概要説明、若手職員による質疑応答
②春ガイダンス（京都） （京都テルサ）	25年4月26日 （㊦345名 ㊤311名）	▲試験の概要説明、若手職員による質疑応答、技術座談会、行政職個別相談会
③夏ガイダンス（京都） （アバンティ）	25年7月30日 （㊦139名 ㊤157名）	▲試験の概要説明、若手職員による質疑応答
④冬ガイダンス（京都） （京都府庁）	25年12月10日 （㊦410名 ㊦初めて開催）	▲セミナー、ブース形式（各職種毎の業務説明、試験・府政概要の説明）
⑤府庁見学会	26年2月19、20日 （㊦258名 ㊤210名）	▲試験の概要説明、職場見学、若手職員による座談会

(2) 大学説明会の実施、合同企業説明会への出展

(ア) 大学説明会：関西の主な大学で実施。（春、冬で36回）

3回生向け→12月～3月にかけて実施 4回生向け→4月中旬～5月下旬

(イ) 民間企業・公務員予備校等が主催する合同説明会に参加（12月～3月で4回）

(3) 民間企業就職サイトへの採用情報の掲載

<掲載サイト> （プレサイト4月～11月のみ・無料）

学情ナビ、文化放送就職ナビ、ポータム就職ナビ、マイナビ（㊤新規）、ジョブラス（㊤新規）

(4) 募集案内パンフレット2014の作成

◆作成部数：14,000部

（受験希望者、高校、大学に配布、ガイダンス等で使用）

(5) メールマガジンの配信

◆採用試験、説明会等の情報を随時配信

(6) 府ホームページへの試験情報の掲載

◆採用試験、職種別業務内容等を掲載